

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
おもちゃの魅力 Toys and Young Children		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
高橋登美子	講義棟3階	火・水・金 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
「おもちゃ」の持つ魅力に触れる。「こどもにとってのおもちゃとはいったい何なのだろう」かを考える。身近な素材の魅力に気付き、素材を利用・活用した安全なおもちゃの製作に取り組む。				
授業の目標				
①こどもにとってのおもちゃの存在や意味を考え、言葉にすることができるようにする。 ②知育玩具について考え、その活用の仕方を考えることができるようにする。 ③身近に溢れている素材の面白さに気づくことで、素材を活かしたおもちゃ製作ができるようにする。				
授業の方法				
「おもちゃ」についての意見交換をする。「おもちゃ」に関する講義も行うことで、こどもの発達に関係する意味が探れるようにする。身近な素材を持参し、創意工夫の中受講者全員で楽しく製作活動に取り組む。				
学習の成果 (学習成果)				
①こどもにとっての「おもちゃ」という存在を解釈し、発達を意識したおもちゃの活用をすることができる。 ②素材の特性を活かした身近な資材の活用ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (シラバスの説明、授業に置いて目指すもの、準備するもの、素材集めについて)			
第2回目	「こどもにとってのおもちゃ」についての意見交換 (保育ルームにあるおもちゃのそれぞれの特性を考える)			
第3回目	身近な素材を活用した「おもちゃ」を作成する① (教材研究、素材選び)			
第4回目	身近な素材を活用した「おもちゃ」を作成する② (教材研究、製作活動)			
第5回目	身近な素材を活用した「おもちゃ」を作成する③ (製作活動、口頭発表)			
第6回目	紙風船のアレンジ製作 (紙風船の素材と形を活かした創作活動)			

第7回目	保育教材を考える①（モンテッソーリ教具に触れる）	
第8回目	保育教材を考える②（モンテッソーリ教具の意味を知る）	
第9回目	保育教材を考える③（モンテッソーリ教具の扱い方をまとめる）	
第10回目	発達を意識した「おもちゃ」を作成する①（教材研究、素材選び）	
第11回目	発達を意識した「おもちゃ」を作成する②（教材研究、素材選び、製作活動）	
第12回目	発達を意識した「おもちゃ」を作成する③（教材研究、製作活動、口頭発表）	
第13回目	折り紙を取り入れた活動①（遊びとしての折り紙製作）	
第14回目	折り紙を取り入れた活動②（表現環境としての折り紙製作）	
第15回目	「おもちゃの魅力」の意見交換と活動のふりかえり	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	製作に必要な材料や用具の準備ができている。活動後の片付けが適切である。友達と協力して楽しく製作活動に取り組んでいる。
レポート		
調査報告書	10%	第9回目授業：モンテッソーリ教具そのものの意味を捉えた教具の扱い方が明確に示されている。（提出日は授業内で示す）
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	40%	子どもに対する安全に考慮して、素材の特性を活かした製作を最後まで丁寧に仕上げている。
その他		
教科書と参考図書		
授業内で必要な書籍を伝える。 図書館の活用を望む。		
履修上の留意点・ルール		
製作に必要な教材・材料・用具は各自が準備する。 使用教室の環境整備（片付け、掃除等）に努める。		